

JAXA 筑波宇宙センター



(表紙写真提供 : JAXA筑波宇宙センター)

筑波宇宙センターは、日本の宇宙開発事業の拠点として、1972(昭和47)年、筑波研究学園都市の一角に旧宇宙開発事業団(NASDA)の事業所として開設されました。

2003(平成15)年、国の宇宙3機関が統合し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と名を改めました。現在、政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的实施機関として、同分野の基礎研究から開発・利用に至るまで一貫して行っています。

筑波宇宙センターが有する約53万㎡の広大な敷地には、研究学園都市にふさわしい緑豊かな環境と最新の試験設備が整備されています。

JAXAの中心的存在である筑波宇宙センターでは、「宇宙からの目となる人工衛星の開発や運用及びその観測画像の解析」「『きぼう』日本実験棟を用いた宇宙環境利用や宇宙飛行士養成と活動推進」「ロケット／輸送システムの開発と技術基盤確立のための技術研究推進」など宇宙開発における最先端分野の研究・開発・試験など多彩な活動が日々行われています。

毎年秋、筑波宇宙センターでは「特別公開」が実施され、普段は一般公開していない施設を特別に見学することが可能です。

当日は宇宙飛行士の講演、工作や水ロケットの打上げ体験などのイベントもあり、また宇宙開発現場の技術者から直接話を聞くことができるなど魅力的な内容となっています。

ご家族、ご友人とともに、年に1度しか実施されない「特別公開」へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



◆場 所：茨城県つくば市千現2-1-1

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「桜土浦IC」より約7分

【電車】特別公開の日は、つくばエクスプレス「つくば駅」およびJR常磐線「ひたち野うしく駅」より無料シャトルバスを運行

◆筑波宇宙センター「特別公開」

2018年9月29日(土)10:00～16:00

(入場15:30まで)

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ